

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.7.12

第 1158 回放送分『感染症』2 回目

ゲスト：川村 英樹ドクター

## 二見いすず

今月のドクタートークは

「感染症」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 川村英樹（かわむら ひでき）ドクターです。

川村さん、どうぞよろしく願いいたします。

川村英樹Dr.

よろしく願いいたします。

## 二見いすず

先週は新型コロナウイルスの現状についてお話しいただきました。

コロナが5類になって2年以上経ちますが、

県内でコロナで亡くなられた方は、2022年から3年連続で

650人を超えており、以前高い数字で推移しているということでした。

ワクチンの接種率は下がっていますが、高齢者と基礎疾患のある方でワクチン接種を考えられている方はぜひワクチンを接種していただきたいとのことでした。

今週は、コロナの治療についてお話しいたします。

川村英樹Dr.

はい。まず治療薬についてですが、

高齢者や基礎疾患のある方は、ラゲブリオとパキロビッドパックというお薬を

重症化予防のために服用します。とくに半年以内にワクチン接種をされていない方、症状が強い方はウイルスを下げるお薬で治療することをおすすめします。

一方、ゾコーバは12歳以上ならどなたでも服用することができ、

症状を軽くする効果があります。

お薬の飲み合わせや腎臓の機能などでお薬の選択も変わりますので、できれば感染に備えてかかる前からかかりつけ医に相談されてください。

## 二見いすず

去年は結構、後遺症についてのニュースが報道されていたように感じますが、

現在、後遺症は落ち着いているのでしょうか？

川村英樹Dr.

後遺症についてはニュースになっていないだけで、

現在もなお続いている人は多いです。

## 二見いすず

そうなんですね。

## 川村英樹Dr.

先ほどお伝えした、ラゲブリオ、パキロビットパック、ゾコーバは、後遺症を減らす効果があるとの報告もあります。

## 二見いすず

費用はやや高額になるでしょうが、自分を守る意味でも、必要に応じて治療薬を選択することは大切ですね。

## 川村英樹Dr.

そうですね。特に重症になるリスクのある方では早期診断と早期治療が大切です。最近では、発熱の症状や喉の痛みがあっても、病院で検査しない人も増えています。たとえ自分は若くて元気であっても、周りにうつしてしまうこともあるので、重症化リスクが高い方が周囲にいる場合は特に症状が出たら自宅で安静に過ごし、または必要に応じて医療機関を受診するようにしてください。

## 二見いすず

先週のお話を伺っていても感じたのですが、新型コロナが流行した初期の頃に比べると、感染予防やワクチン、検査などがおろそかになってきている部分が多いのかもしれないですね。

## 川村英樹Dr.

多くの方にとっては風邪と同様の感染症ではありますが、重症となりお亡くなりになる方も多い感染症でもあります。今一度、基本的な感染予防である手洗いや換気、マスク着用など、一人ひとりができることを思い出して必要なシーンで実行していただきたいです。

## 二見いすず

よく分かりました。  
今月は、「感染症」をテーマにお送りしています。  
お話は、鹿児島県医師会 川村英樹ドクターでした。  
川村さん、ありがとうございました。

## 川村英樹Dr.

ありがとうございました。